

## 表 目 次

表-2.1	兵庫県南部地震後の建物被害調査に関する比較	2-6
表-2.2	建物被害調査項目の比較	2-9
表-2.3	建物被害調査項目の内容と判定比率	2-10
表-2.4	各地域の建物被害判定の比較	2-14
表-2.5	工事費の比率	2-18
表-3.1	建物被害調査内容の比較	3-5
表-3.2	建物被害棟数の比較	3-5
表-3.3	エリアごとの建物棟数と町名	3-7
表-3.4	対象地域全域における建物被害判定結果	3-7
表-3.5	建物被害関数の構築に用いた推定地震動と建物被害率	3-13
表-3.6	建物被害関数の係数	3-14
表-3.7	各判定ごとの建物被害関数の係数	3-16
表-4.1	灘区の建物被害棟数	4-6
表-4.2	RC 造の階数別被害棟数	4-14
表-4.3	S 造の階数別被害棟数	4-15
表-4.4	木造の屋根種別・建築年代別被害棟数	4-16
表-5.1	灘区の対象地域内（臨海・山麓地域以外）の建物被害棟数	5-12
表-5.2	統合された区分の例（140 棟ごとに統合された RC 造の場合）	5-12
表-5.3	建物被害関数の回帰係数（構造別）	5-13
表-5.4	建物被害関数の回帰係数（木造建築年代別）	5-13
表-6.1	統合された地域区分の例（1951 年以前の木造の場合）	6-7
表-6.2	被害関数作成のための構造・年代区分の分類	6-7
表-6.3	建物被害関数の回帰係数	6-8
表-6.4	灘区における推定建物被害棟数と実被害との比較	6-17
表-7.1	東京都の建物倒壊危険度評価における建物・基礎地盤分類項目	7-5
表-7.2	分類項目ごとの建物全壊率と規準化数値	7-17
表-7.3	確率密度関数のパラメータと全壊率をほぼ再現するような危険性ウェイト	7-24
表-7.4	東京都の地盤分類ごとの PGV 地盤増幅度と生起確率密度関数のパラメータ値	7-27
表-7.5	本章のウェイトを東京都に適用した場合の汎用危険性ウェイト	7-27
表-8.1	MUSE 利用法の具体例	8-36
付録 2	灘区の町丁目データ	10-19